

# 四国・水こぼれ話

Water Information Saloon Shikoku

## 談話室 Vol.53

### 昔のふれあいを取りもどす「出水」 ～水とともに暮らす～

香川県 善通寺市長

みやした ゆたか  
宮下 裕



わたしたちの善通寺市は、香川県の西北部に位置する人口3万5千人あまりの緑豊かな田園都市です。まちの名前ともなっている総本山善通寺は、高祖・弘法大師「空海」の誕生地であり、京都東寺、紀州高野山と並ぶ弘法大師三大霊場の一つとして、多くの人々の信仰を集めています。今年には総本山善通寺が建立されて千二百年目の慶事の年にあたり、まちをあげての様々なイベントで賑わっています。

本市の地形は、讃岐山脈と瀬戸内海の中間に位置し、まちの中心部を挟むようにまちの東側を金倉川、西側を弘田川が南北に貫流しています。このようなことから、二つの川の間広がる市街地では、いたる所から豊かな湧き水が噴出し、昔から人々の暮らしを潤してきました。明治時代には100カ所以上の出水があり、乃木将軍で有名な陸軍第11師団の善通寺市への設置も、一説にはこの豊かな地下水があったからとも云われています。

このうち、現在も機能している出水は81カ所と少々減少はしましたが、今も渇水時にはこの出水のお陰で大変助かっています。

出水は昔から子どもたちの遊び場でもありました。暑いときは、その場で服を脱ぎ捨てて泳いだり、フナやドジョウなどの小魚がたくさん泳いでいたので、恰好の釣り場にもなっていました。また、生活水としても利用されていたので、地域の井戸端会議の場にもなっていました。

このように、地域住民が気軽に集う場所としての機能を備えた出水ですが、生活が豊かになるにつれて出水環境は悪化し、人々が出水から離れていきました。

そんなことから、善通寺市では昔ながらのコミュニティや生活環境を取り戻すため、数年前から出水や池などの水辺環境整備を進めています。命の根源である水をこれからも大切に守り、共存できる人やまちでありたいと願っています。



3年前に整備した水の駅公園「いさぎ 峯の湧き」は、地域住民の憩いの場所。こどもの日を前に家族連れで楽しんでいる様子。



市街地の中にある二頭出水、コイやフナがたくさん泳いでいます。



地藏池水辺公園 池の周囲には遊歩道を整備。好きな時間にウォーキングを楽しむことができる。